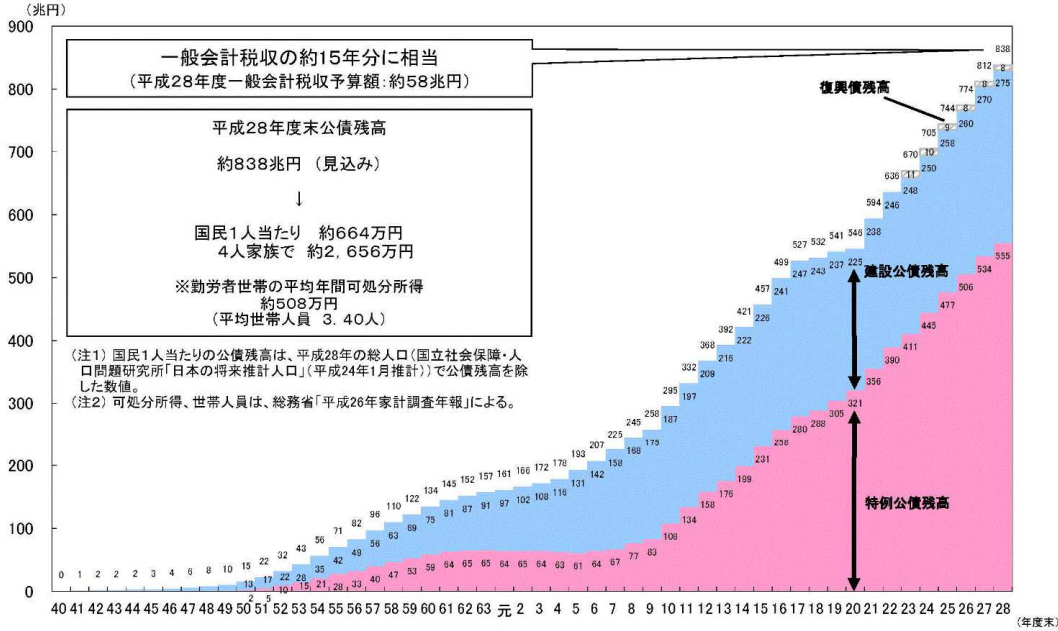


NEWS RELEASE

参考1. 公的債務残高について

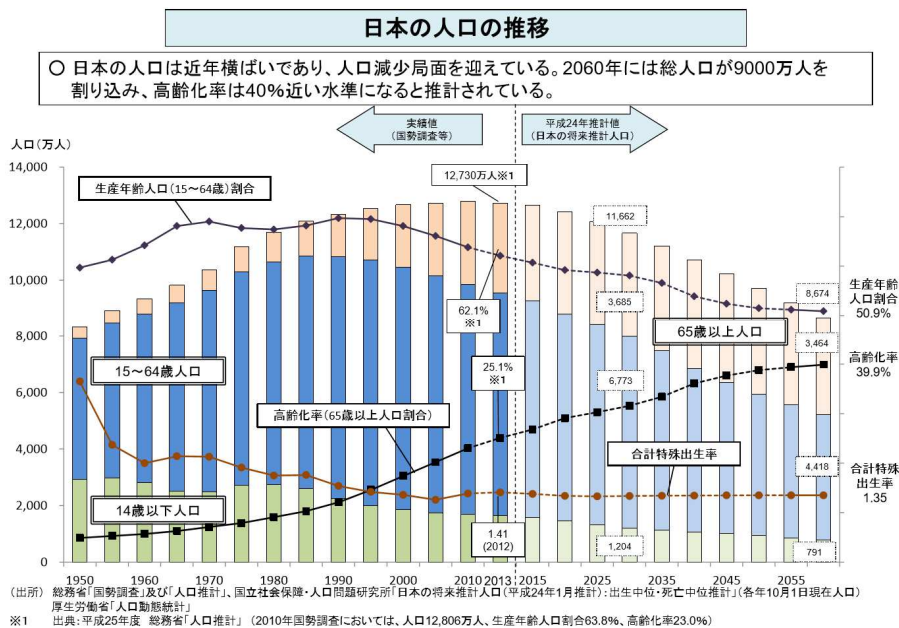
(平成28年度(4月末日)公債残高の累増財務省データより)



- (注1) 公債残高は各年度の3月末現在額。ただし、平成27年度末は補正後予算案に基づく見込み、平成28年度末は予算に基づく見込み。
- (注2) 特例公債残高は、国鉄長期債務、国有林野累積債務等の一般会計承継による借換国債、臨時特別公債、減税特例公債及び年金特例公債を含む。
- (注3) 東日本大震災からの復興のために実施する施策に必要な財源として発行される復興債(平成23年度は一般会計において、平成24年度以降は東日本大震災復興特別会計において負担)を公債残高に含めている(平成23年度末:10.7兆円、平成24年度末:10.3兆円、平成25年度末:9.0兆円、平成26年度末:8.3兆円、平成27年度末:7.8兆円、平成28年度末:7.6兆円)。
- (注4) 平成28年度末の翌年度借換のための前倒債限度額を除いた見込額は790兆円程度。

参考2. 人口動態統計について

(日本の人口の推移 厚生労働省データより)



NEWS RELEASE

参考 3. 介護要因について

(平成 28 年国民生活基礎調査 厚生労働省データより)

表 20 要介護度別にみた介護が必要となった主な原因（上位 3 位）

(単位:%) 平成28年

要介護度	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
総 数	認知症	18.0	脳血管疾患（脳卒中）	16.6	高齢による衰弱	13.3
要支援者	関節疾患	17.2	高齢による衰弱	16.2	骨折・転倒	15.2
要支援 1	関節疾患	20.0	高齢による衰弱	18.4	脳血管疾患（脳卒中）	11.5
要支援 2	骨折・転倒	18.4	関節疾患	14.7	脳血管疾患（脳卒中）	14.6
要介護者	認知症	24.8	脳血管疾患（脳卒中）	18.4	高齢による衰弱	12.1
要介護 1	認知症	24.8	高齢による衰弱	13.6	脳血管疾患（脳卒中）	11.9
要介護 2	認知症	22.8	脳血管疾患（脳卒中）	17.9	高齢による衰弱	13.3
要介護 3	認知症	30.3	脳血管疾患（脳卒中）	19.8	高齢による衰弱	12.8
要介護 4	認知症	25.4	脳血管疾患（脳卒中）	23.1	骨折・転倒	12.0
要介護 5	脳血管疾患（脳卒中）	30.8	認知症	20.4	骨折・転倒	10.2

注：熊本県を除いたものである。

参考 4. アミロイド仮説

今まで認知症の多くはアミロイドβとタウタンパク質の蓄積による脳神経細胞の死滅が原因だと言われてきました。しかし、認知機能は病理変化、つまりアミロイドβの蓄積と一致しない症例が多数存在しています。

以上